

令和4年度 第3回磐田市多文化共生社会推進協議会 摘録

日 時	令和5年2月28日（火）午後7時00分～午後9時00分
場 所	磐田市役所本庁舎4階 大会議室
出席委員	佐伯康考会長、藤田允副会長、川原利彦委員、渡邊カルロス委員、松下晴彦委員、伊藤雅之委員、鈴木秀幸委員、鈴木公恵委員、田中琢問委員、薛堅委員
事務局	地域づくり応援課長補佐、職員2名
オブザーバー	学校教育課（加藤） 多文化交流センター（山田）

[会議内容]

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 磐田・袋井・掛川インターナショナルフェア 2023 資料1
 - (2) 磐田市日本語教室について(後期) 資料2、参考資料1・2
 - (3) 前回ワークショップの振り返り 資料3-1、資料3-2
 - (4) 今年度の取組み結果及び次年度の取組み計画 資料4、参考資料3・4・5
- 4 協議事項
 - (1) 外国人アンバサダーの選任について 資料5
 - (2) 子育て・教育に関わる機関の連携課題について 資料6
- 5 閉会

[会議概要摘録]

- 1 現状及び課題の整理
 - (1) 多様性豊かな調和のとれた多文化共生の地域づくりを目指した取組み
 - ・インターナショナルフェアやダイバーシティ・サッカー交流会のような取組みは全国的にも稀である。今後もイベントを実施するだけで満足せず、実働的な交流を継続するよう努める。
 - (2) 日本語教育支援者の育成
 - ・日本語教室支援者の不足解消に向けた取組みとして、ボランティア体験会を開催することで、地域住民から新たな参加者を得ることができ、継続的な参加にもつながった。
 - (3) 関係各所への情報提供
 - ・市の多文化共生施策をPRする動画や、やさしい日本語の手引きを配信・配付することで、磐田市内外の外国人だけでなく日本人にとっても「働きやすい・暮らしやすい」と選ばれる磐田市を目指す。

2 協議事項における主な意見

(1) 外国人アンバサダー

- ・市が外国人アンバサダーに求める役割をより明確化したうえで、自薦・他薦問わず応募を募る。

(2) 子育て・教育に関わる機関の連携

- ・支援を必要とする児童生徒数に対し、支援者が不足している。
- ・子どもが小さいうちから、支援に取り組むべきである。